

令和2年度(2020年度) 学校評価書

学校名 北海道札幌南高等学校(全日制)

学校関係者
学校評議員
5名

1 学校教育目標
① 高い眼見と豊かな情懷を養う。
② 健全な身体と健全な指の精神を養う。
③ 互いに人格を尊重し社会的責任を養う。

2 育成を目指す資質能力
(1) 主体的に課題を発見し取り組もうとする力
(2) 知的好奇心を持ち学び続ける力
(3) 自分の言葉で表現する力
(4) 他者と協働し、対話によって、問題解決を図る力
(5) 社会の中でどう生きるか、自分の生き方なり方を考える力

3 重点目標
(1) 自ら探究し学び、幅広く教養を身に付ける態度を育む。
(2) 文武において、切磋琢磨し、健全な心身をつくる態度を育む。
(3) 自分の道は自分で切り拓き、最後まで諦めずにやり抜く態度を育む。

4 自己評価結果
評価基準【A：達成している B：おおむね達成 C：やや不十分である D：不十分である】

5 学校関係者評価
(1) 自己評価の適切さ
評価基準【A 適切な評価である B ほぼ適切な評価である C やや不適切な評価である D 不適切な評価である】
(2) 改善に向けた取組の適切さ
評価基準【A 十分な効果が期待できる B ほぼ十分な効果が期待できる C あまり効果が期待できない D 全く効果は期待できない】

領域	重点事項	評価の観点	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善・充実の方策	(1)自己評価の適切さ	(2)改善に向けた取組の適切さ
I 学習指導	①「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業実践に向け、「教科研修」の充実を図る。	①授業力向上に係る授業相互参観の呼びかけや各教科における組織的な研修を継続的に実施することができた。	B	①教務部を中心にICTの活用や臨時休業の際の対応など組織的な対応が促された。今後は、授業力向上・授業改善に向けた具体的な仕掛けが必要である。	B	B
	②「総合的な探究の時間」において、情報活用能力、問題発見・解決能力等の育成のため、ICT機器等の教育機器を適切に活用した学習活動の充実を図る。	②「総合的な探究の時間」において、タブレットPC等の情報機器を活用し、情報収集、意見交流、発表活動などを効果的に実施することができた。	B	②同窓会の支援等で学校独自のwifi環境は整備され、各学年ではタブレット及びBYODで情報活用能力の育成が一層進展した。今後は教員の研修を深め、通常の授業でも充実した取組を進める。		
	③新学習指導要領に基づく教育課程の実施に向け、観点別評価の研究を進める。	③「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に基づく観点別評価について、校内外の研修を通して理解を深めることができた。	C	③ICT教育に係る研修を主に行い、観点別評価への研修が実施できなかった。今後は教員の研修を深め、新学習指導要領の趣旨を活かした研修に努める。		
	学校関係者の意見	・広い視点を持って自己の能力を最大限に生かし、社会で活躍する生徒の育成を希望する。 ・コロナ禍でのリモート学習のほか、新しい形態の学習にチャレンジするチャンスと理解して前向きに取り組んでほしい。 ・観点別評価は間もなく加算するので、校内研修は重要である。				
II 生徒指導	①生徒の自治的、創造的な活動を通して、社会の一員としての自覚を促し、自主的・自律的な態度の育成を図る。	①生徒の自主性を生かした生徒会活動等が効果的に進められるとともに、部活動の方針を踏まえながら、高い部活動加入率を維持し活発な活動を推進できた。	B	①コロナ禍でも感染対策を講じ、自主自律の活動が展開された。感染対策は部長を中心にマニュアルを策定し、取り組んでいる。	B	B
	②自他の生命を大切にするとともに、他者を尊重し、「いじめは絶対に許されない」という意識と態度を育成する。	②各種会議、いじめ防止委員会等での定期的な情報共有により、積極的に生徒の状況把握に努め、迅速かつ組織的な対応を図ることができた。	B	②生徒に関する情報共有をこまめに行い、早い段階で組織的に対応し、いじめの認知件数は2件であった。		
	③情報モラルを身に付けさせる指導を適切に行い、情報社会に主体的に関わる態度を育成する。	③情報モラルに関するHR指導、講演会、各種資料を活用した啓発活動、教員・保護者対象の研修等を適切に実施できた。	B	③ICT環境が整備され、学校全体で情報社会に適切な態度を身につけるように様々な場面で情報モラルの育成に努めた。今後は六華wifi下で、BYOD環境での取り扱い等について深めていく。		
	学校関係者の意見	・コロナ禍は、南高生の自主性・自立性を発揮するチャンスと捉えて創意工夫に期待したい。 ・情報モラルの育成は専門家による講演などを通して確実に実施してほしい。 ・対面ができない状況での交流は難しいと思うが、ICTを活用するなど困難な状況にも学校全体で対応している。				
III 進路指導	①新たな進路情報の収集・発信、進路に関わる体験活動、相談活動等を適切に進め、ガイダンスの機能の充実を図る。	①進路セミナー・ガイダンス等の計画的な実施を通して、生徒・保護者・教員に対して有効な進路情報の発信・提供を行うとともに、進路に関わる生徒の学習の記録・成果の蓄積ができた。	A	①コロナ禍において、ICTを活用してリモートでのセミナーやガイダンス、タッチペンを活用するなど、柔軟に対応し、計画した活動をすべて行うことができ、理解が深まった。	B	B
	②自己の在り方生き方や社会との関わりについて深く考え、将来、社会の一員として貢献していくことを自覚し、主体的に進路を選択する能力を育成する。	②学問研究・自らの振り返りや六華ゼミ・出前講義など外部教育力を活用した取組を活かす効果的に実施することにより、生徒の主体的な進路意識を高めることができた。	A	②六華ゼミなどを通して将来像などがさらにイメージでき、キャリア教育を効果的に進めることができた。次年度も外部の教育力を活用し、主体的なキャリア育成に努める。		
	③進路シラバスに基づく系統的な進路指導を通して、自主的・協働的な学習態度を養うとともに、思考力・判断力・表現力を高め、進路実現に必要な能力を育成する。	③進路指導年間計画による進路学習等や「総合的な探究の時間」での探究的な学習プログラムに基づいた取組が効果的に実施できた。	B	③年間計画に基づき、柔軟に対応し予定通り実施できた。総合的な探究の時間ではチームを組んで、主体性や協働性を磨くことができた。		
	学校関係者の意見	・六華ゼミを通して、広い分野で自分の能力を生かし知識を得ることができるようをお願いしたい。 ・六華ゼミが役立っているとするならば、同窓会としてまたいへん喜ばしいことである。 ・医学部に集中することなく、多方面への進路希望や海外への学びの場の提供など広い視野を持てるようにしてほしい。				
IV 健康・安全指導	①生徒の多様な実態や一人一人が抱える課題を把握し、迅速かつ組織的に対応できるよう教育相談体制の充実を図る。	①心の悩みを抱えた生徒の状況や対応の仕方について、教員間で共有するとともに、保護者、SC、専門機関等との連携を円滑かつ効果的に進め、適切な援助ができた。	B	①多様化する生徒の状況に、保護者、SC、SSWなどの専門機関と連携し、生徒、保護者の心情に寄り添った対応ができている。今後も情報共有を綿密に行い、機動的な対応をしていきたい。	B	B
	②自ら心身の健康保持増進を積極的に図り、健康で活力ある生活を送ることのできる資質・能力を育成する。	②生徒の心身の健康状態を的確に把握し、生徒一人一人の特性等にに応じた支援を適切に行うことができた。	B	②担任、保健相談部、養護教諭を中心に、生徒の心身の健康状況の情報共有に努め、適切な支援を行うことができています。		
	③日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解させ、生涯を通して安全な生活を送ることのできる資質・能力を育成する。	③交通安全、防犯及び防災に関わる取組を通して、日常の様々な危険について自ら判断し、自他の安全に配慮した安全な行動をとることができた。	B	③コロナ禍で体験的な防災・防犯教育はできなかったが、図上訓練を行うことで俯瞰的な視野に結びつき、危機意識を高めることにつながった。		
	学校関係者の意見	・保護者、SC、専門機関等との連携を通して、生徒の悩み等の把握に努め、適切な支援をお願いしたい。 ・潜在能力はかなり高い生徒なので、コロナ禍終息後の新しい時代の担い手づくりに期待したい。 ・COVID19の感染を通してモラルのあり方をぜひ身につけてほしい。 ・感染防止に対する日頃の意識の高さがうかがえる。				
V 働き方改革	1 ワークライフバランス(仕事と生活の調和)の視点を取り入れ、勤務時間を意識した働き方を推進することができた。		B	時間外勤務が45時間を超える職員が月ごとに減少しており、出勤管理システムの導入による効果は大きい。	B	B
	2 計画された部活動休養日等を完全実施して、生徒のバランスのとれた生活や心身の成長に配慮することができた。		B	昨年度より改善は進んできている。今後も適切に休養を取り入れ、生徒の心身の健康に配慮した活動に努める。		
	学校関係者の意見	・生徒とともに職員も体調管理も同時に留意してほしい。 ・これからの新しい働き方は若い世代からのイノベーションが大きくなるので、教師集団も率先してチャレンジしてほしい。 ・教員の健康状態の把握を、定期的に行うことが大切である。 ・コロナ禍での働き方改革を枠内に収めていくことは難しいことではあるが、学校全体で対応していることはたいへん評価できる。				